

【STEALTH BACKUP設定簡易マニュアル】

ご契約時に記入したメールアドレスに初めアカウント有効化というメールが届きます。メールが受信できるパソコンで有効化します。(P2～P3)



有効化が終わりましたら、LS150/120のアプリセンターからSTEALTH BACKUPアプリページ入り、アカウント情報を入力しログインします。(P4～P5)



クラウド管理ページでバックアップの設定を行います。(P6～P11)

ファイル復元方法 (P12～P13)

☆操作する際の設定画面にて使用するブラウザでIEはご利用できません☆



2022/06/10 (金) 16:46

noreply@stealthcs.ne.jp

アカウントの有効化

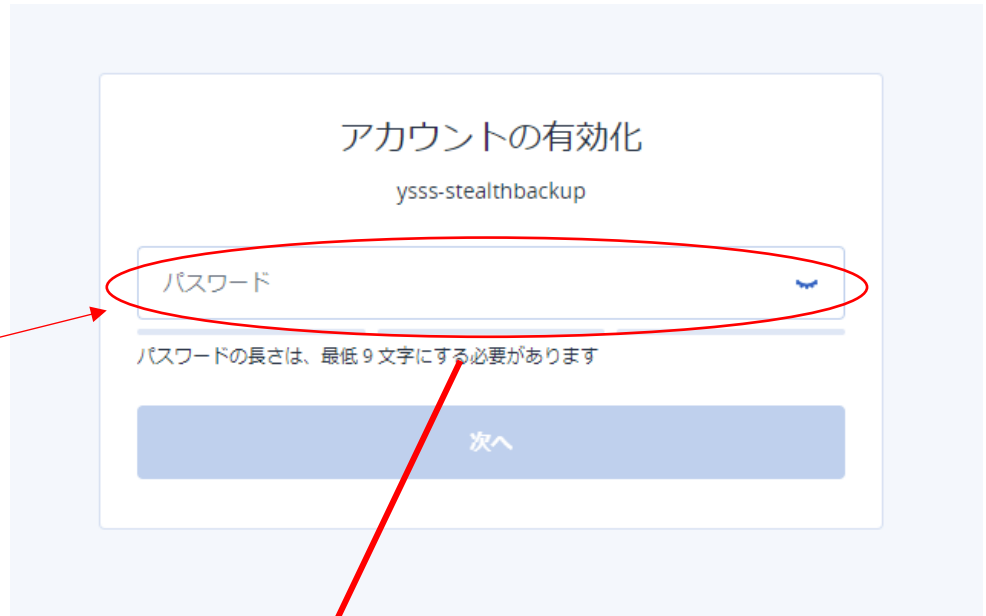
宛先 ysss-stealthbackup@ys-net.ne.jp

このメッセージの表示に問題がある場合は、ここをクリックして Web ブラウザーで表示してください。
画像をダウンロードするには、ここをクリックします。プライバシー保護を促進するため、メッセージ内の画像は自動的にダウンロードされません。



契約時に登録したメールアドレスに上記メールが届きます。
アカウントの有効化をクリックしてください。

ログインIDは今後ログインで使用するユーザーになります。



パスワードを考え、入力してください。
次へをクリックしてください。

ログインURL: <https://backup.stealthcs.ne.jp/login>
上記のURLからログインできるかテストお願いします。



サインイン

ログイン

次へ

前ページの青枠の部分のユーザーを入力

サインイン

ysss-stealthbackup

パスワード
.....

次へ

パスワードを忘れた場合

他のユーザーを選択

先ほど設定したパスワードを入力



Login

サイバープロテクションコンソール

https://backup.stealthcs.ne.jp/ui/#/dashboards

STEALTH BACKUP

アカウントの管理

監視

概要

アラート

アクティビティ

脅威フィード

デバイス

管理

保護 EAP

ソフトウェア管理

バックアップストレージ

レポート

Powered by Acronis AnyData Engine

概要

デバイスが追加されていません

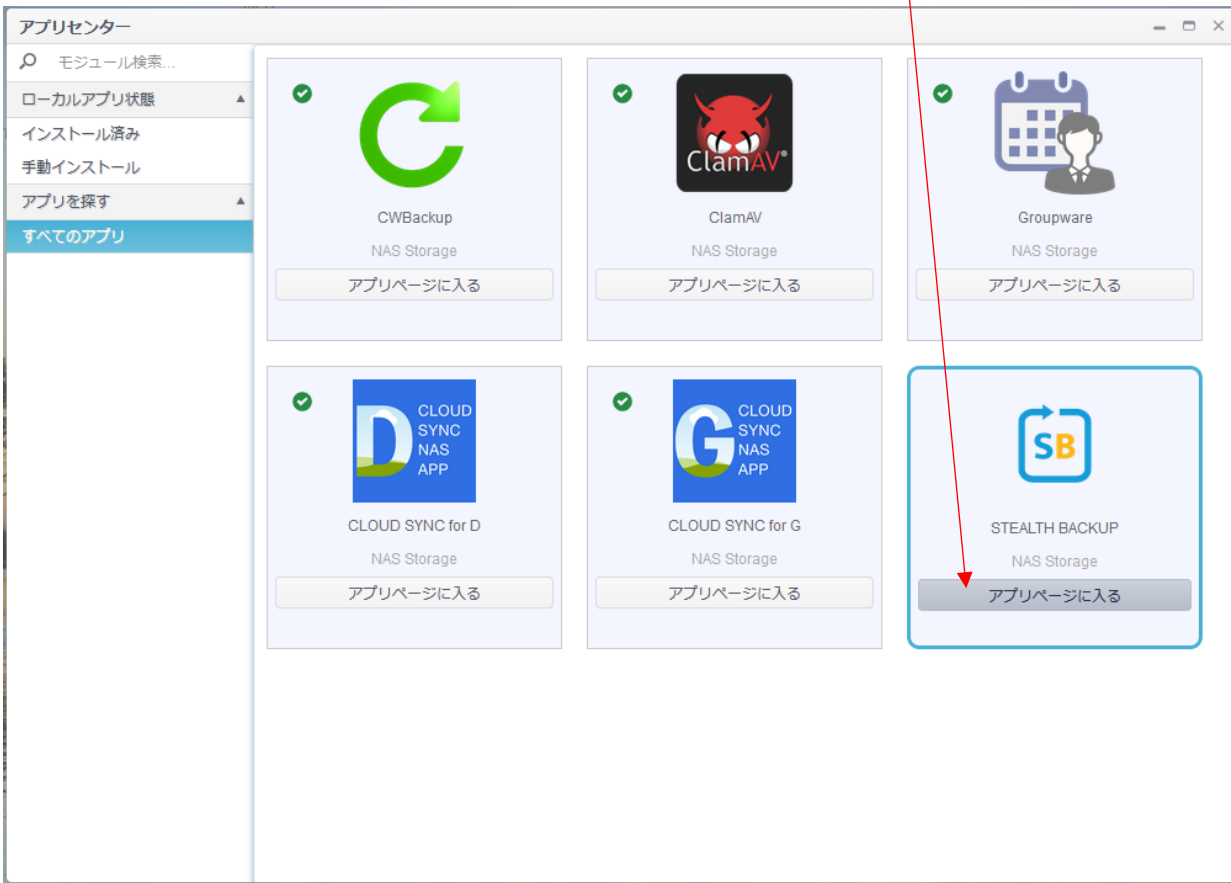
このダッシュボードにはカスタマイズ可能ないくつかの動的ウィジェットがあり、保護インフラストラクチャと保護対象デバイスの概要を把握できます。デバイスがまだ追加されていないため、ダッシュボードを表示できない状態です。下のボタンをクリックしてデバイスを追加します。

デバイスの追加

下記の画面になりましたら、ログイン成功です。
次のページからはLS150/120に移ってください。画面右上の赤枠の部分でログアウトできます。

LS150/120へ管理者でログインし、アプリセンターから「STEALTHONE BACKUP」をインストールします。インストール後、「アプリページに入る」をクリックします。

※ご利用にはLS150/120ファームウェアV3.02.10.52以上が必要です



クラウドバックアップサービス: 利用する
クラウドバックアップサービスを選択: STEALTH BACKUP
ログインアカウント・パスワード: ご利用のアカウント

上記の通り入力し、「OK」をクリックします。
「成功」のメッセージが表示されるのを確認してください。

クラウドバックアップサービス: 利用する 利用しない

クラウドバックアップサービスを選択: STEALTH BACKUP ▼

ログインアカウント: 12345678@aaaaa.com

パスワード: ●●●●●●●●●●

クラウドバックアップサービスURL: <https://backup.stealthcs.ne.jp/>

Cancel

OK

※ 使えるねっと社の「使えるクラウドバックアップ」も利用できます。その場合は、サービス選択で「使えるクラウドバックアップ」を選択してください。

クラウドサービスURLをクリックするとログイン画面が表示されます。
お客様ご利用のアカウントでログインしてください。

クラウドバックアップサービス: 利用する 利用しない

クラウドバックアップサービスを選択: STEALTH BACKUP

ログインアカウント: 12345678@aaaaa.com

パスワード: ●●●●●●●●●●

クラウドバックアップサービスURL: <https://backup.stealthcs.ne.jp/>

Cancel OK



サインイン

ログイン

次へ

概要

保護のステータス

- 保護済み: 1
- 保護されていない: 0
- 管理対象: 1
- 検出済み: 0

マシンごとの #CyberFit スコア

マシン名	#CyberFit スコア	検査結果
TESTLS150	サポート対象外	



すべてのデバイス

種類	名前 ↑	アカウント	ステータス	ソース	前回のバックアップ
Linux	TESTLS150		OK	システム	3月25日 23:04:07 4月

メニューの「デバイス」をクリックすると、登録された端末が表示されます。
以上がバックアップ機器の初期設定になります。
次ページはバックアップの設定になります。

デバイスの一覧から該当のサーバ名をクリックしてください。
右にメニューが表示されますので、「保護」をクリックします。

STEALTH BACKUP

すべてのデバイス

アカウントの管理

監視

デバイス

すべてのデバイス

エージェントがインストールされているマシン

ワイルドBP

非管理マシン

管理 新規

保護

ソフトウェア管理

バックアップストレージ

Powered by Acronis AnyData Engine

検索

選択済み: 1 / ロード済み: 1 / 合計: 1 表示: 最近の項目

種類	名前 ↑	アカウント	ステータス	ソース	3月
Linux	TESTLS150	大介川又 (d_kawamat...	保護されていません	システム	3月

アクション...

- 保護
- 復元
- 詳細
- アクティビティ
- アラート
- グループに追加
- 削除



計画の作成から「保護」をクリックしてください。

STEALTH BACKUP

すべてのデバイス

アカウントの管理

監視

デバイス

すべてのデバイス

エージェントがインストールされているマシン

ワイルドBP

非管理マシン

管理 新規

保護

ソフトウェア管理

バックアップストレージ

Powered by Acronis AnyData Engine

検索

選択済み: 1 / ロード済み: 1 / 合計: 1 表示: 最近の項目

種類	名前 ↑	アカウント
Linux	TESTLS150	大介川又 (d...

TESTLS150

適用可能な計画がありません

計画の作成

- 保護
- リモート管理

バックアップの設定のタイトルを変更できます。
1つだけであれば変更不要ですが、複数作成する場合は変更すると便利です。
赤枠の緑の丸の部分にマウスを持っていくと鉛筆マークが出ます。
そこをクリックすると右の図のように変更できるようになります。

TESTLS150

← 適用した計画に戻る

新しい保護計画 (2) 

キャンセル 作成

i macOSおよびLinuxデバイスにおけるマルウェア対策保護が確実に実行されるようにするため、保護計画のウイルス対策およびマルウェア対策保護モジュールで、Advancedマルウェア対策を有効にします (追加のライセンスが必要です)

バックアップ 

マシン全体 クラウドストレージ, 月曜日から金曜日の 11:30 に行う (常に増分)

バックアップの対象

バックアップ先 

スケジュール 

保持する数

暗号化 

アプリケーションバックアップ 

バックアップオプション

名前の指定 

計画名

キャンセル OK

ここからバックアップの設定を行います。どこのデータをいつクラウドに移すかスケジュールの設定です。

TESTLS150

← 適用した計画に戻る

LS150_BACKUP キャンセル 作成

i macOSおよびLinuxデバイスにおけるマルウェア対策保護が確実に実行されるようにするため、保護計画のウイルス対策およびマルウェア対策保護モジュールで、Advancedマルウェア対策を有効にします（追加のライセンスが必要です）

バックアップ ファイル/フォルダ クラウドストレージ, 月曜日から金曜日の 11:30 に行う (常に増...

バックアップの対象 ファイル/フォルダ

バックアップする項目 指定

バックアップ先 クラウドストレージ

スケジュール 月曜日から金曜日の 11:30 に行う (常に増分)

保持する数 90件のバックアップ

暗号化 パスワードの指定

バックアップオプション 変更

バックアップ対象は「ファイル/フォルダ」を選択します。
※「マシン全体」「ディスク/ボリューム」は選択しないでください。バックアップが正常に動作しません。

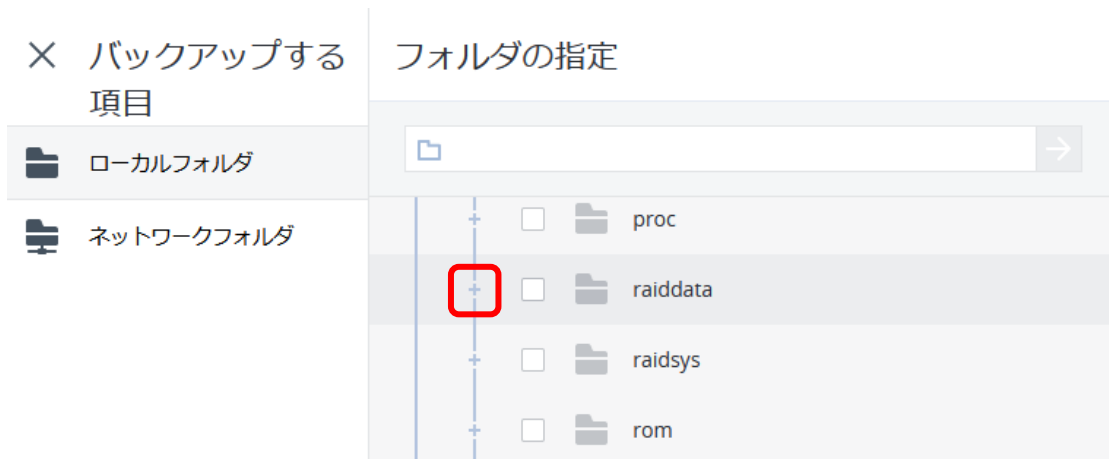
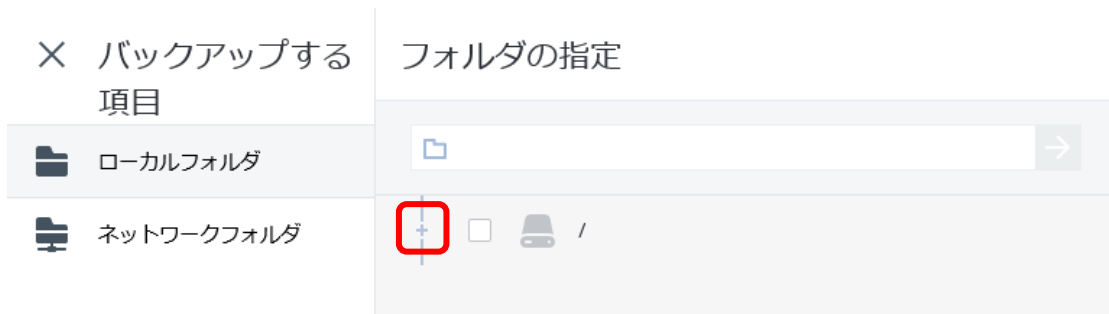
バックアップする項目の「指定」をクリックします。
「Select files and folders」をクリックします。

ファイルとフォルダを指定

バックアップする項目を選択 直接

TESTLS150 Select files and folders

/raiddata/0/ フォルダまで「+」をクリックして移動します。



/raiddata/0/ フォルダ内がNASに保存されているデータです。バックアップを行いたいフォルダにチェックし、「完了」をクリックします。



/raiddata/0/配下のフォルダで、LSの管理画面から確認出来るフォルダを指定してください。
/raiddata/や/raiddata/0/にチェックしてもバックアップされません。

チェックしたフォルダのリストが表示されます。
問題無ければ「OK」をクリックします。

ファイルとフォルダを指定 ×

バックアップする項目を選択 [直接](#) ▼

TESTLS150 Select files and folders	
/raiddata/0/88/	×
/raiddata/0/AA/	×
/raiddata/0/BACKUP-PUMA/	×
/raiddata/0/DISK_IMAGE/	×
/raiddata/0/folderA/	×
/raiddata/0/groupstest/	×
/raiddata/0/GW_Backup/	×
/raiddata/0/HOME/	×

OK キャンセル

次にバックアップスケジュール・保持する数・暗号化を設定します。
最後に、「作成」をクリックします。

← 適用した計画に戻る

新しい保護計画 (3) キャンセル 作成

i macOSおよびLinuxデバイスにおけるマルウェア対策保護が確実に実行されるようにするため、保護計画のウイルス対策およびマルウェア対策保護モジュールで、Advancedマルウェア対策を有効にします（追加のライセンスが必要です）

バックアップ 🔴 ▼
ファイル/フォルダ クラウドストレージ, 月曜日から金曜日の 12:00 に行う（常に増分）

バックアップの対象 ファイル/フォルダ ▼

バックアップする項目 /raiddata/0/88/
/raiddata/0/AA/
/raiddata/0/BACKUP-PUMA/
および5の別のアイテム

バックアップ先 クラウドストレージ i

スケジュール 月曜日から金曜日の 12:00 に行う
（常に増分） i

保持する数 90件のバックアップ

暗号化 🔴 パスワードの指定 i

バックアップオプション 変更

設定の詳細は「i」マークや「?」マークをクリックして参照してください

サービスウォータの確認が表示された場合は、「確認」をクリックして下さい。

保護計画では、次のサービスウォータをデバイスに適用する必要があります。

- サーバー

サービスウォータは自動的に適用されます。

次からこのメッセージを表示しない

確認

設定が保存され、スケジュールに沿ってバックアップされます。

The screenshot shows the Acronis STEALTH BACKUP web interface. On the left is a dark blue sidebar with navigation options: アカウントの管理, 監視, デバイス, すべてのデバイス (highlighted), エージェントがインストールされているマシン, ワイズBP, 非管理マシン, 管理 (新規), 保護, ソフトウェア管理, バックアップストレージ, レポート, and Powered by Acronis AnyData Engine. The main content area is titled 'すべてのデバイス' and contains a search bar and a table with columns for '種類', '名前', and 'アカウント'. A table row is visible with 'Linux', 'TESTLS150', and '大介 川又 (d...)'.

On the right, a modal window titled 'TESTLS150' is open, showing a '新しい保護計画 (3) 保護' section with a 'ワイズBP' icon. A blue information box contains the text: 'macOSおよびLinuxデバイスにおけるマルウェア対策保護が確実に実行されるようにするため、保護計画のウイルス対策およびマルウェア対策保護モジュールで、Advancedマルウェア対策を有効にします (追加のライセンスが必要です)'. Below this is a 'バックアップ' section with details: 'ファイルフォルダクラウドストレージ, 月曜日から金曜日の 19:00 に行う (常に増分)'. At the bottom right, a green notification box states: '計画 新しい保護計画 (3) が保存されました'.

ファイルを復元する場合は、デバイス一覧からデバイス名をクリックし、アクションから「復元」をクリックします。

STEALTH BACKUP

すべてのデバイス

アカウントの管理

監視

デバイス

すべてのデバイス

エージェントがインストールされているマシン

ワイルドBP

非管理マシン

管理

新規

すべてのデバイス

検索

選択済み: 1 / ロード済み: 1 / 合計: 1 表示: 最近の使用

種類	名前 ↑	アカウント	ステータス	ソース	アクション
Linux	TESTLS150	大介川又 (d_kawamat...	OK	システム	復元

アクション...

- 保護
- 復元
- 詳細
- アクティビティ
- アラート
- グループに追加
- 削除

バックアップ一覧が表示されますので、復元したい日時の「ファイル/フォルダの復元」をクリックします。

TESTLS150

ストレージ: d_kawamata@ys-net.ne.jp

その他の復元方法...

11件のバックアップ

すべて削除

今日, 14:33

バックアップ計画: 新しい保護計画 (3)

サイズ: 8 KB

内容: ファイル

バックアップの種類: 完全

ファイル/フォルダの復元

アクション

昨日, 23:11

4月8日, 23:11

4月5日, 23:11

4月4日, 23:11

4月3日, 23:10

4月2日, 23:11

4月1日, 23:11

3月29日, 23:11

3月28日, 23:11

復元可能なファイルが表示されますので、ファイル名をクリックし、「復元」又は「ダウンロード」をクリックします。



STEALTH BACKUP

TESTLS150 > raiddata > 0 > 88

← 戻る

検索

種類 ↑ 名前 サイズ 最終変更

種類 ↑	名前	サイズ	最終変更
<input type="checkbox"/>	CAS_TEST_01	4.00 MB	6月9日, 2023 18:37:00
<input type="checkbox"/>	CAS_TEST_02	4.00 MB	6月9日, 2023 18:37:11
<input type="checkbox"/>	CAS_TEST_03	4.00 MB	6月12日, 2023 19:01:07

復元

ダウンロード

「ダウンロード」をクリックすると、ファイルは操作しているPCにダウンロードされます。

「復元」をクリックすると、NASに復元するメニューが表示されます。カスタムロケーションを選択すると、NASの任意のフォルダへ復元出来ます。



Recover files

復元先
TESTLS150

パス

元のロケーション

カスタムロケーション

復元を開始

復元オプション